

幻のかまど「三岡へっつい」を再現

2月7日の「ふるさとの日」に

幕末明治に活躍した本県出身の由利公正（三岡八郎）が考案したとして小説などで紹介された“かまど”「三岡へっつい」をご存知でしょうか。

県では、「三岡へっつい」を探しだそうと、昨年、県民の皆さんに広く情報提供を呼びかけました。

さらに、昨年末から福井県左官工業組合の協力を得て再現作業を進め、今年7日の「ふるさとの日」にお披露目しました。

今後は、イベントで展示したり、実際に活用するなどし県民の皆さんに紹介していきます。



福井駅西口広場「恐竜モニュメント」

3月中旬まで福井駅東口へちょっとお引っ越し



昨年3月に登場した福井駅西口広場の動く恐竜モニュメント。駅舎の恐竜壁画や恐竜トリックアートなどとともに人気を集めています。

今年1月、駅前広場の整備工事に伴い、フクイラプトルとフクイサウルスの2体は東口広場に移動しました。

3月中旬には、一番大きいフクイティタンとともに元の場所に帰ってきます。さらに、恐竜の足跡化石のレプリカも新たに設置するなどレベルアップしますのでお楽しみに。

福井の魅力年全国に発信!

福井発インターネット配信ドラマが完成



若者のU・Iターンを促進するため、県が制作したドラマ「夢叶う、福井県」の撮影に当たり、県内ロケ中の1月14日、主演を務めた剛力彩芽さんと菅谷哲也さんが、西川知事と会談。西川知事は「福井を宣伝してください」と激励し、県産の眼鏡をプレゼント。

剛力さんは「ドラマを通じて福井の魅力を伝えていきたい」、菅谷さんは「地方で就職して頑張ろうと思っている人のエネルギーになりたい」とそれぞれ意気込みを語りました。

ドラマは、YouTubeなどインターネットで配信中です。ぜひご覧ください。

夢叶う、福井県

検索

世界標準のものさし水月湖「年縞」

丸川環境大臣が里山里海湖研究所を視察

三方五湖の一つ、水月湖の「年縞」（湖の底にある、縞模様の堆積物）は、考古学や地質学における年代測定のものさしと言われ、本県の豊かな自然と優れた里山里海湖のシンボリックな存在です。

県は、この年縞の価値をさらに高めるため、昨年10月に世界有数の年縞研究機関である立命館大学と協定を締結し、研究を共同で進めています。

昨年12月には、丸川珠代環境大臣が里山里海湖研究所を訪れ、立命館大学の中川教授から「年縞」研究の意義と役割についての説明を受けました。

